

NST院内研修会を開催しました！！

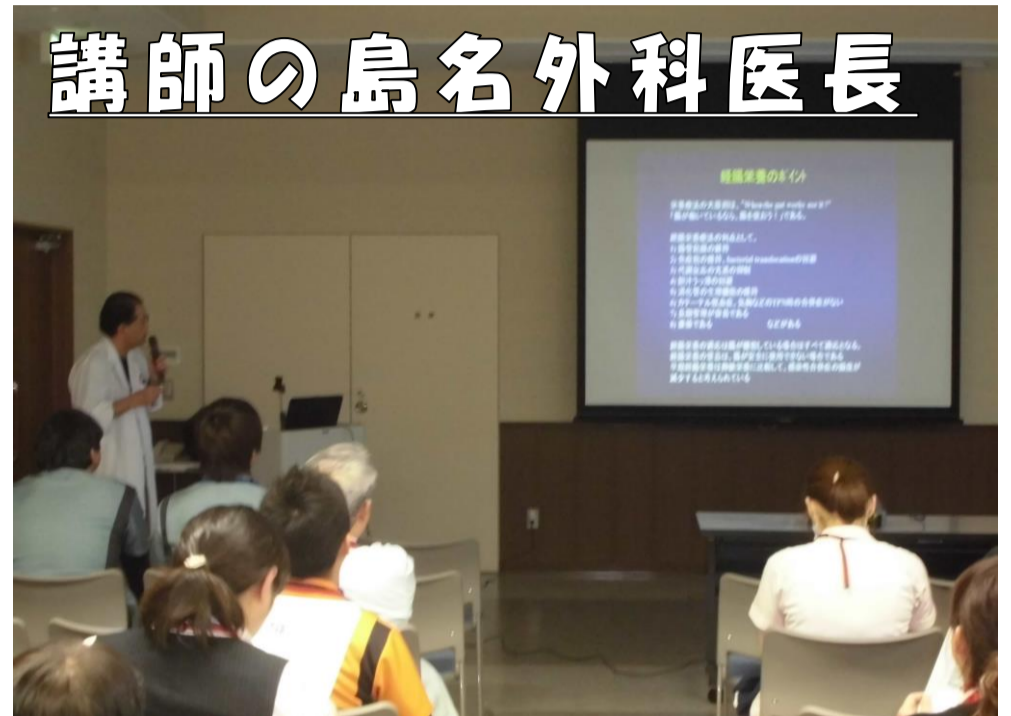
平成26年1月31日（金）に当院の2階大会議室を会場に、職員を対象としたNST（※後述）院内研修会を開催しました。

NST委員長の島名外科医長を講師とし、今回は「胃ろうの合併症対策」の研修を行いました。

患者様の早期回復を図る上で栄養状態の改善は重要であり、PEG（※後述）は効果的な手段です。

そのPEG造設時に懸念される合併症の原因と対策について、より理解を深める機会になりました。

講師の島名外科医長



研修中の様子



NSTとは

栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）の略。さまざまな資格を持つ医療スタッフが参加し、患者様個人の病状や治療、栄養の状態に応じて栄養管理をしていくチーム方式の医療です。患者様の早期回復のほかに、治療費の削減など、病院の運営コストの軽減にもつながる効果があると言われています。

PEGとは

口から十分に栄養が取れない患者様のために、内視鏡（胃カメラ）を使っておなかの壁と胃の壁を繋ぐ小さな穴（胃ろう）を造り、その穴にチューブを入れる手術です。

そのチューブを通して栄養を摂取します。

PEGは患者様や介護者双方に負担の少ない経腸栄養法です。